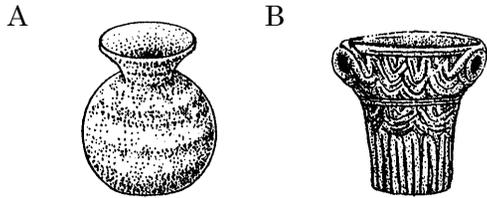


得点	演習問題			実施日	月	日	氏名
	単元名:日本の国のおこり ②						

【1】 次のことがらのうち、先土器時代の文化にあてはまるものは A、縄文文化にあてはまるものは B、弥生文化にあてはまるものは C、古墳文化にあてはまるものは D の記号を書きなさい。

- (1)岩宿の遺跡 () (2)鉄器の使用 ()
 (3)貝塚 () (4)土偶の製作 ()
 (5)青銅器の使用 () (6)氏姓制度 ()
 (7)石庖丁使用の始まり () (8)はにわの製作 ()
 (9)奴国王の金印 ()
 (10)土器製作の始まり ()

【2】 下の A、B の図を見て、次の各問いに答えなさい。



- (1) この 2 つの土器は、それぞれ何土器とよばれているか。
 A() 土器) B() 土器)
- (2) この 2 つの土器は、それぞれどんな模様が特色となっていますか。
 A() B()
- (3) A の土器に代表される時代を何時代とよび、およそいつごろからいつごろをいいますか。
 () 時代) () ~ ()
- (4) A・B の土器の時代の特色を次の文から 2 つずつ選び、記号で答えなさい。 A() B()
- ア 水田耕作に適した低地に住みつき、村や小さな国ができていった。
 イ 磨製石器を使用するようになり、住まいは竪穴式住居が多かった。
 ウ 狩りや漁、植物採集など、獲物を求めた移住生活であった。
 エ 高床式の倉庫もつくられ、貧富の差ができた。

【3】 次の各問いに答えなさい。

- (1) 邪馬台国の女王で、まじないなどによって政治を行った人物はだれですか。 ()
- (2) 氏と姓によってつくられた大和朝廷のころの政治や社会のしくみを何制度といいますか。 ()
- (3) 近畿地方には、4世紀から5世紀のころになると、小山のように土を盛り上げた日本独特の形をした大きな古墳がつくられ始めた、この大きな古墳を何といいますか。 ()
- (4) 5世紀の初めごろから、朝鮮から日本に移り住む人々がふえ、大陸のすぐれた知識や技術がさかんに日本に伝えられた。これらの人々を何とよびますか。 ()
- (5) 大和朝廷が国土統一をなしとげたころ、朝鮮では三国がたがいに争っていた。三国とは、高句麗・百済のほかあと 1 つはどこですか。 ()

【4】 次の資料を見て、下の各問いに答えなさい。

- 資料 A 紀元前1世紀、倭国は 100 余国の小国に分かれていた。 (「漢書」地理志)
 資料 B 1世紀の半ばすぎ、倭の奴国が貢物をもってきた。皇帝の光武帝から金印があたえられた。 (「後漢書」東夷伝)
 資料 C 3世紀ごろ、倭国の邪馬台国は30ほどの国を従えていた。その女王は神に仕え、召使を 1000 人も使っている。

- (1) 紀元前 1 世紀のころ、日本は 100 余国に分かれていたのが、3 世紀のころになると 30 余国になったのは、どのような国内の動きを示すものといえるか。 ()
- (2) 当時の中国の人々は、日本のことを何とよんでいましたか。 ()
- (3) 右の写真の金印は、後漢の光武帝から日本の何という国の王に授けられたものですか。 ()
- (4) 資料 C は、中国の何という歴史書に書かれていましたか。また、文中の女王の名を何といいますか。 () ()
- (5) 資料 C の歴史書にある3世紀の中国は、どんな時代か。 ()
- (6) 資料 C の「邪馬台国」のあった場所について 2 つの説ある。2 つの場所を答えなさい。 () ()



【5】 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の文の () にあてはまることばや数字を答えなさい。

大和国家は、(①) 世紀後半には、ほぼ九州から関東までを支配するようになり、その王は (②) とよばれ、のちの天皇の祖先となった。大和朝廷の豪族たちは、(③) とよばれる集団をつくり、臣、連などの (④) をあたえられ、きまった仕事を受け持って朝廷に仕えた。地方の豪族の中には、(⑤) に任ぜられてその地方を支配するものもあった。

- ① () ② () ③ ()
 ④ () ⑤ ()

- (2) 右の地図は5世紀の朝鮮半島を表しています。これについて次の問いに答えなさい。

- ① A~C はそれぞれ何という国でしたか。
 A() B()
 C()
- ② 大和朝廷は右の地図の斜線の地域に進出しようとしていましたが、この地域は何といいますか。 ()
- ③ このころ大和朝廷の王が中国の南朝にしばしば使いを送った理由を答えなさい。



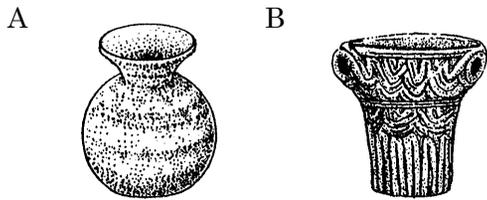
[]

得点	演習問題〔解答〕	実施日	月	日	氏名

【1】 次のことがらのうち、先土器時代の文化にあてはまるものは A、縄文文化にあてはまるものは B、弥生文化にあてはまるものは C、古墳文化にあてはまるものは D の記号を書きなさい。

- (1)岩宿の遺跡 (A) (2)鉄器の使用 (C)
 (3)貝塚 (B) (4)土偶の製作 (B)
 (5)青銅器の使用 (C) (6)氏姓制度 (D)
 (7)石庖丁使用の始まり (C) (8)はにわの製作 (D)
 (9)奴国王の金印 (C)
 (10)土器製作の始まり (B)

【2】 下の A、B の図を見て、次の各問いに答えなさい。



- (1) この 2 つの土器は、それぞれ何土器とよばれているか。
 A(弥生 土器) B(縄文 土器)
- (2) この 2 つの土器は、それぞれどんなもようが特色となっていますか。
 A(直線的なもよう) B(縄目のもよう)
- (3) A の土器に代表される時代を何時代とよび、およそいつごろからいつごろをいいますか。
 (弥生 時代) (紀元前 3 世紀 ~ 3 世紀)
- (4) A・B の土器の時代の特色を次の文から 2 つずつ選び、記号で答えなさい。 A(イ ウ) B(ア エ)
- ア 水田耕作に適した低地に住みつき、村や小さな国ができていった。
 イ 磨製石器を使用するようになり、住まいは竪穴式住居が多かった。
 ウ 狩りや漁、植物採集など、獲物を求めた移住生活であった。
 エ 高床式の倉庫もつくられ、貧富の差ができた。

【3】 次の各問いに答えなさい。

- (1) 邪馬台国の女王で、まじないなどによって政治を行った人物はだれですか。(卑弥呼)
- (2) 氏と姓によってつくられた大和朝廷のころの政治や社会のしくみを何制度といいますか。(氏姓制度)
- (3) 近畿地方には、4世紀から5世紀のころになると、小山のように土を盛り上げた日本独特の形をした大きな古墳がつくられ始めた、この大きな古墳を何といいますか。(前方後円墳)
- (4) 5世紀の初めごろから、朝鮮から日本に移り住む人々がふえ、大陸のすぐれた知識や技術がさかんに日本に伝えられた。これらの人々を何とよびますか。(渡来人)
- (5) 大和朝廷が国土統一をなしとげたころ、朝鮮では三国がたがいに争っていた。三国とは、高句麗・百済のほかあと 1 つはどこですか。(新羅)

【4】 次の資料を見て、下の各問いに答えなさい。

資料 A 紀元前1世紀、倭国は 100 余国の小国に分かれていた。(「漢書」地理志)
 資料 B 1世紀の半ばすぎ、倭の奴国が貢物をもってきた。皇帝の光武帝から金印があたえられた。(「後漢書」東夷伝)
 資料 C 3世紀ごろ、倭国の邪馬台国は30ほどの国を従えていた。その女王は神に仕え、召使を 1000 人も使っている。

- (1) 紀元前 1 世紀のころ、日本は 100 余国に分かれていたのが、3 世紀のころになると 30 余国になったのは、どのような国内の動きを示すものといえるか。(国内統一への動き)
- (2) 当時の中国の人々は、日本のことを何とよんでいましたか。(倭)
- (3) 右の写真の金印は、後漢の光武帝から日本の何という国の王に授けられたものですか。(奴国)
- (4) 資料 C は、中国の何という歴史書に書かれていましたか。また、文中の女王の名を何といいますか。(魏志倭人伝) (卑弥呼)
- (5) 資料 C の歴史書にある3世紀の中国は、どんな時代か。(三国時代)
- (6) 資料 C の「邪馬台国」のあった場所について 2 つの説ある。2 つの場所を答えなさい。(北九州) (大和地方)



【5】 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の()にあてはまることばや数字を答えなさい。

大和国家は、(①)世紀後半には、ほぼ九州から関東までを支配するようになり、その王は(②)とよばれ、のちの天皇の祖先となった。大和朝廷の豪族たちは、(③)とよばれる集団をつくり、臣、連などの(④)をあたえられ、きまった仕事を受け持って朝廷に仕えた。地方の豪族の中には、(⑤)に任ぜられてその地方を支配するものもあった。

- ①(4) ②(大王) ③(氏)
 ④(姓) ⑤(国造)

- (2) 右の地図は5世紀の朝鮮半島を表しています。これについて次の問いに答えなさい。
- ① A~C はそれぞれ何という国でしたか。
 A(高句麗) B(百済)
 C(新羅)
- ② 大和朝廷は右の地図の斜線の地域に進出しようとしていましたが、この地域は何といいますか。(伽耶(任那))



- ③ このころ大和朝廷の王が中国の南朝にしばしば使いを送った理由を答えなさい。
 [大王の地位と朝鮮半島の支配を認めさせようとした]